



月刊喜界島ジオパーク令和7年6月号

喜界島ジオパーク推進協議会 事務局員 土屋純子

日本ジオパーク委員会

公開プレゼンテーション！



喜界島のプレゼンテーション中

2025年5月24日、千葉県の幕張メッセにて開催された、日本ジオパーク委員会（JGC）において喜界島が日本ジオパーク認定に向けた公開プレゼンテーションを行いました。町長をはじめ、6名が登壇し、喜界島の地質

的特徴や歴史、地域の取り組みについて熱意を込めて発表しました。

【プレゼンテーションの概要】

上地事務局長は、喜界島の独特な自然や歴史、事務局の体制について紹介しました。喜界島サンゴ礁科学研究所の山崎所長は、泥と砂が積み重なって出来た島の中身の島尻層群や、サンゴ礁の隆起によって形成された地層や、2017年の豪雨災害で新たに発見された知念層など、島の成り立ちを物語る地質学的特徴をアピールしました。また、埋文の松原学芸員からは歴史的な背景から、中世の交易の中心点であったことや、沖縄や本土の影響を受け、独自の歴史と文化を育んだ島であることなどを紹介しました。

ガイドの外内さんからは、サンゴ石を用いた石垣や墓、信仰の対象となるサンゴ石など、特徴的な文化も紹介しました。2009年の皆既日食を機に発足したガイド組織「よんよりり」、エコツアーガイドの設立、地域通訳案内士との連携など、観光と教育の融合

にも触れられました。また、事務局の土屋からは、島の子どもたちが今後、自信を持って喜界島の魅力を語れるよう、「ジオパーク！給食」や「ジオパーク学習」、「サンゴ留学」などの学習プログラムの展開や、公民館講座や防災への積極的な取組について発表しました。

そして、隈崎会長からは、今後の展望とともに、未来に向けてのバトンを次世代へと繋いでいくという強い決意が語られました。

その後の質疑応答では審査員の方から熱心な質問が出てきました。

「喜界島は住んでいる人たちが地質学的な要素を体に取り入れている」と言ったサンゴ研の渡邊理事長の哲学的な回答も出て、盛り上がりのうちに時間になりました。最後は、段丘ポーズとサンゴポーズで締めました。

その結果、喜界島は次のステップである現地審査に進むことが決定しました。審査員が喜界島を訪れ、状況を直接確認する予定です。今後の進展にご期待ください。



段丘ポーズとサンゴポーズ!!

・プレゼンテーション動画公開中
今回のプレゼンテーションの様子は、YouTubeで公開されています。
・フェイスブック始めました
喜界島ジオパーク推進協議会のフェイスブックをはじめました。よろしければご覧ください。（イイネもらえると励みになります）

